

令和3年度 鯨城会 運営方針

コロナ禍のなかでも、地域活動により会の存在感を高めよう！

鯨城会会長 細野博行

令和2年度は鯨城学園がコロナ禍により1年間休校するという経験したことの無い年でした。鯨城会においても会議の中止があいつぎ、さらに主催する行事やボランティア活動が全面中止となりました。また卒業生がおらず新規の入会者が全くいない事態となり、会の運営は厳しい状況でした。

4月には昨年に引き続き会長職を引き受けましたが、コロナ禍でどこまで活動ができるか不安であります。そんななか4月9日に学園では入学式が無事終わり、順調にスタートできるものと思いました。ところが4月中旬になるとコロナ感染が拡大して、学園の休校が決まりました。5月に入っても休校が続き、6月の地域ミーティングも中止となり先行き不透明であります。

令和3年度はコロナ禍の終息を期待して、行事やボランティア活動の年間計画をたてました。今後ワクチン接種が順調に進み、秋の行事が無事に催行できることを望んでいます。そして全区の皆様と交流できることを楽しみにしています。

なおホームページについては区の要望を受けて改修作業を行い、4月からはリアルタイム更新やカレンダー機能を加えました。集合しての行事や会議が困難で会員相互の親睦の機会が少なくなるなか、ホームページを活用して情報交換ができ会員相互の親睦につながればよいと思います。スマートフォンやパソコンで、是非ホームページを開いてみて下さい。

会の目的

- ① 会員相互の親睦をはかり、教養を高める
- ② 地域社会の貢献としてボランティア活動の実践
- ③ 学園の発展に寄与する

最後に会員の皆様には健康に留意して、活動に参加下さいますをお願いします。

